

春日井ロータリークラブ 2016～2017年度 WEEKLY REPORT



クラブテーマ

～地域で期待されるロータリアンになろう～

会 長 : 伊藤 純 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
 副 会 長 : 社本 太郎 例会場 : ホテルプラザ勝川
 副 会 長 : 宅間 秀順 事務局 : 春日井市鳥居松町5-45
 幹 事 : 成瀬 浩康 TEL : (0568) 81-8498
 会報委員長 : 加藤 宗生 FAX : (0568) 82-0265
 E-mail : Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

自然の恵みを
未来の子供達へ

ロータリーの森

本日のプログラム

司会 朽本 正樹君
 伊藤 純君
 「君が代」
 「奉仕の理想」
 伊藤 純君
 伊藤 純君
 成瀬 浩康君
 伊藤 純君

- ・点 鐘
- ・国 歌
- ・ROTARY SONG
- ・ビジター紹介
- ・食事・歓談
- ・委員会報告
- ・会長挨拶
- ・年次総会
- ・幹事報告
- ・点 鐘

2016年12月2日(日)2303回(12月第1例会)

幹事報告 幹事 成瀬 浩康君

◎例会変更のお知らせ

| | |
|----------|---|
| 名古屋名北 RC | 12月14日(水) 12月10日(土) 忘年会の為ウエスティンナゴヤキャッスル |
| 小 牧 RC | 12月14日(水) 12月11日(日) 家族会の為名古屋マリオットアソシアホテル |
| 名古屋城北 RC | 12月13日(火) 12月14日(水) 家族会の為 東急REIホテル |
| 名古屋空港 RC | 12月12日(月) 12月12日(月) 18:00 家族会の為 キャッスルプラザ |

先週の記録

会長挨拶 会長 伊藤 純君
 東尾張分区 IM について少しお話をさせていただきます。
 基調講演では、元国際ロータリー会長・田中作次氏による世界のロータリーと奉仕について、日本のロータリーから世界のロータリーについて、丁寧にお話をさせていただきました。
 また各クラブから質疑応答の時間に、春日井ロータリーから加藤宗生君が質問に立っていただきました。
 元会長からは、アメリカでは地区大会は開催しないなど、お金の使い道にも様々日本と違いがあるとの話でした。
 それにひきかえて、日本では立派な地区大会が行なわれています。
 全員登録のIMには20名程度の参加しかいませんでした。
 また機会があれば、元会長の講演を直接聞いて頂き、これからの活動に活かして欲しいと思います。

出席報告 委員長 大橋 省吾君

| | | |
|----------|------|----------|
| 会員 61名 | 欠席0名 | 出席率 100% |
| 先々週の修正出席 | 欠席0名 | 出席率 100% |

ニコボックス報告 委員長 速水 敬志君

○IMに参加して。
 足立 治夫君 青山 博徳君 場々大刀雄君
 藤川 誠二君 日比 雄将君 伊藤 純君
 伊藤 一裕君 伊藤 正之君 神田 寛司君
 加藤久仁明君 加藤 将人君 加藤 宗生君
 加藤 茂君 河村 哲也君 川瀬 治通君
 風岡 保広君 貴田 永克君 北 健司君
 近藤 秀樹君 近藤 太門君 松尾 隆徳君
 名畑 豊君 中川 健君 中島 泉君
 成瀬 浩康君 新美 治男君 野浪 正毅君
 小川 茂徳君 小川 長君 大原 泰昭君
 大橋 完一君 太田 弘道君 大畑 一久君
 大橋 省吾君 岡田 義邦君 岡嶋 良樹君
 岡本 博貴君 小柳出和文君 小野寺 誠君

ロータリー財団月間

| | | | | |
|------|--|--|-------------------|----------------------|
| 例会予定 | 12月9日(金) 祝福 卓話 早川 八郎君 卓話 川瀬 治通君 | 12月16日(金) クリスマス家族会 ホテルプラザ勝川 17:30受付 18時例会 | 12月23日(金) 法定休日 | 12月31日(金) 休会定款6-1 |
|------|--|--|-------------------|----------------------|

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

| | | |
|--------|--------|--------|
| 社本 太郎君 | 芝田 貴之君 | 下田 育雄君 |
| 清水 勲君 | 志水ひろみ君 | 杉山 考明君 |
| 高木 修君 | 宅間 秀順君 | 峠 テル子君 |
| 朽本 正樹君 | 梅田 英夫君 | 梅村 守君 |
| 和田 了司君 | 屋嘉比良夫君 | 山田 治君 |
| 藪下 尚武君 | 古屋 義夫君 | 長谷川英輝君 |
| 蓮野 美廣君 | 早川 八郎君 | 速水 敬志君 |
| 林 憲正君 | | |

IM実行委員長挨拶

安藤喜代司君

IMとは、Intercity Meeting：インターシティミーティングの頭文字で、近隣の都市の複数のクラブで実施する都市連合会のことです。グループ、分区単位でのクラブや、大都市の場合、その都市内の数クラブの会員が集まり、合同で行う自由討論会。ガバナー補佐が主催して開かれる事が多いようです。決議や決定はなく、IMへの出席はメークアップとなります

その目的は、第一に会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、立派なロータリアンの養成にあります。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合です。討論の主な内容は、5大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。クラブ会員、全員参加です。この会合の大切な目的は、会員相互の親睦と知識を広める事であって、さらに会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されます

テーマは、ロータリーのこと、一般社会の事で、そのときに話題になっている事、考えなければならない問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます

IM歓迎の言葉

伊藤 靖祐君

皆様 2016-2017 年度東尾張分区インターシティミーティングによろこそお越しくございました。ホストクラブを勤めさせて頂きます江南クラブの伊藤でございます。本日は服部ガバナー、神野ガバナーエレクト、分区内パストガバナーの皆様にもお越し頂き感謝申し上げます。そして分区の12クラブの皆様からは476名の登録をいただきましたことを重ねて心よりお礼申し上げます。

さて、本IMでは2012-2013年度RI会長田中作次様をお迎えし、「世界のロータリーと奉仕」と題してご講演をいただきます。2016規定審議会では“Meeting Flexibility”とうたわれていますが、

クラブの出席や例会について柔軟性を持たせる決議がされました。RIの表現は“take advantage of greater flexibility”とされています。これはこの決議を Negative に捉えるのではなく、Advantage として捉えてくださいということです。また、単なる柔軟性ではなくより卓越した柔軟性であるということです。その意味でロータリーは強い組織に変わろうとしているのです。ロータリーが変化しようとしているこの時にふさわしい田中作次様にご講演をいただくことはこの上ない幸せでございます

今日は皆様とロータリーを語ればと思います。よろしくお願ひ申し上げます

東尾張分区ガバナー補佐挨拶

古田 嘉且君

国際ロータリー第 2760 地区東尾張分区インターシティ・ミーティング (IM) 開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます

本日は、服部良男ガバナーはじめ、特別出席者の皆様にご臨席賜り、心より御礼申し上げますとともに、IM開催にあたり、多くのロータリアンの方々のご出席を得ることが出来、皆様方の日頃のロータリー活動へのご理解、ご協力に感謝致しております。「人類に奉仕するロータリー」、これは、今年度のジョンF. ジャームRI会長のテーマであります。では、今、私達ロータリーの直面している問題は、どうでしょうか

会員数の減少、ロータリーに対する意識の低下、真の親睦度の低下、多様性の低下、目的の曖昧さ等が、問われているように思われます

さらに、今、ロータリーが大きく変わろうとしています。しかし、変わり行くロータリーにあって、「変わりゆくもの、変わらぬもの(不易流行)」という言葉がありますとおり、忘れてはならないことは、「ロータリーは、人づくりのクラブであり、奉仕するロータリアンを育てるところである。」ということでございます

ポール・ハリスは、ロータリーの根本精神について、「私は、ロータリーの創始者として、ロータリーは何かと問われたら、躊躇なく、寛容と答えるだろう。寛容の心とは、相手の立場に立って考えることのできる心であり、その心に基づく実践が、ロータリーの奉仕の本質である。」と述べています。しかし、奉仕に対する解釈が大きく変化していく現状を見るにつけ、ポール・ハリスが創立し、日本人の感性に合致した真のロータリー運動は、何処へ行ってしまったのでしょうか

そんな疑問に答えるべく、2012-2013 年度国際ロータリー会長を務められた田中作次様に、「世界のロータリーと奉仕」と題して講演をいただきます。もう一度、原点に立ち返り、皆で大いに、「ロ

「ロータリーを語ろう」ではありませんか

ところで、IMの目的は、「会員相互の親睦と面識を広め、ロータリー情報を伝える」と共に、「真のロータリアンの養成の場」であるともされています。ロータリーに対する考え方は、ロータリアン各自、様々であり、同様に、各クラブそれぞれに色があり、良き個性があります。区内12クラブ12色が、絶妙に融合し合い、その個性を上手く交換し合うことが、分区発展のためには、重要であり、各クラブの交流の中で、個性豊かな、東尾張分区の特色をより輝かせる一助になればと思っています

結びに当たりまして、本日のIMが、ロータリーへの思いを新たにし、親睦を育み、友情を深める契機になれば、これに勝る喜びはございません。

本日は、どうぞ宜しくお願い申し上げます

基調講演

田中 作次氏

「世界のロータリー」

副題～奉仕、ロータリー、私の人生

皆様こんにちは、この度は当東尾張分区においてお話しさせて頂く機会を得て大変光栄でございます。皆様の区内の各クラブは長い年月にわたって、地域社会に奉仕し、発展されてきたことに対し心から敬意を表します。この長い期間に於いて、世界でも多くの変化や進歩がありました。今日の世界は、当時とはまったく違う場所のようにも思われることもあります。しかし、今も昔も変わらず、ロータリーは地域社会に奉仕し、ここ日本にもしっかりと根付いて発展して参りました。皆様のクラブは多くの優れた資質を十分に生かし、奉仕と親睦を推進して下さっていることに深く感謝申し上げます。創立から現在も活発に活動しておられる貴クラブは、これからも今まで成し遂げてこられたように、さらに発展していかれることでしょう。新会員を増やし、また、現会員の皆さまもさらに活発に奉仕し、クラブのいろいろな役目を務めるなどして、積極的に参加していただくことを願っております。世界の環境変化と共に、クラブもその時代に合わせて現状にマッチさせるよう適切に変化させることが重要です。どのような変化を取り入れるべきかについては、主体性を持つクラブが理事会を通して検討する必要があります。これには、年会費の妥当性や例会出席の見直しも含まれます。例えば、若い世代の会員にも合うような年会費の額、朝、昼、夕方などの例会時間の再検討、家庭の主婦を含めた女性会員の増

加、魅力ある例会プログラムへの再検討、あらゆる奉仕活動の見直しも含まれます。また現在意義ある奉仕活動をクラブなどで行っているか、「ロータリーに関心を持ったのはなぜか」、「クラブが取り組める地域社会の本当のニーズは何か」「ロータリーで何をしたいか」、など、新会員の声に耳を傾けることで、これまでに見えなかった新しいアイデアが浮かぶかもしれません。また、国際ロータリーの長期計画を参考に、地区内では各クラブの3か年長期計画を立てておられると思います。ロータリーは常に目標を立てそれを目指して活動します。生きている、ありとあらゆるものが成長するように、組織も成長しなければ存続できません。長い歴史を持つロータリー・クラブの皆さまは、このことをよくご存知の事と思います。それぞれのクラブは設立された時と全く同じ姿ではないでしょう。幾世代にもわたり、前の世代が去り、次の世代の新しい会員が入会します。毎年役員が交代し時々とは異なったプロジェクトが行われます。しかし、重要なことは、そこに常にロータリー・クラブがあるということです。表層が様々に変化しても、ロータリーの中核、つまり奉仕への献身は変わりません。その意味ではクラブはいつの時代も同じクラブです。クラブのお陰で、皆様の地域は以前よりも良い地域社会になりました。そして、これからも末永く、皆様のクラブと共に、この地域で人々が助け合い支え合って、発展していくことでしょう。ロータリー・クラブのある地域社会は、クラブのない地域よりも必ず良い場所になると私は信じています。ロータリーがある地域社会の人々の人生は、必ず豊かなものになると思います。ロータリーが大きくなれば、それだけ強くなりますが、ただし、会員数を増やすことだけを目的に新会員を入れても、ロータリーは強くなりません。ただクラブに入会するのではなく、真のロータリアンとなれる人を迎え入れ、クラブでしっかりと指導してこそ、ロータリーは強くなれると思います。私が八潮ロータリー・クラブに入会した日は、新しい人生を歩み始める第一歩となりました。人々とのつながり、奉仕を通じた満足感や達成感、そして平和を、それまでよりも深く感じるようになりました。私は、この気持ちを多くの人に伝えていきたいと考えておりますが、その方法の一つが、ロータリーへの入会をお誘いすることだと考えています。入会見込者に伝えなければならぬのは、ロータリーが素晴らしい団体であるということ、そしてロータリーへの入会によって、彼らの人生がより幸せになるということです。ここにいる私たち全員が、会員であることの素晴らしさを知っており、ロータリーを愛しています。私たちがロータリーで見つけた幸せを、多くの人々に知っていただきたいと思います。今

から約 40 年以上前の 1975 年にロータリーへ入会した当初、それから私の人生が全く違った方向に向かっていくとは、思ってもみませんでした。ロータリーのお蔭で私の今日があり、私の生きる目的が明確になりました。それは他者や社会の為に自分のできる範囲に於いて少しでもお役に立ち地域社会そして世界平和のためになれることです。ロータリーでは、常に目標を立て、それを目指して活動しています。生きている、ありとあらゆるものが成長するように、組織も成長しなければ存続できません。固有の歴史と伝統を持つクラブの皆さまは、このことをよくご存知ではないでしょうか。各クラブが設立された時と現在ではまったく同じ姿ではないでしょう。幾世代にもわたり、前の世代が去り、次の世代の会員が入会します。そして毎年、役員が交代し、年によっては違う新しいプロジェクトが実施されます。それではこれから世界を回って各地の会員から当時 RI 会長に対して質問を受けた内容の一部である 30 数項目について Q&A 方式でお話をさせていただきます。最初の Q1, だけが少し長くなりますがご容赦ください

Q1, RI 会長の役割は何ですか：

RI 会長は、RI の最高役員です。「会長は、RI の第一の代弁者であり、国際大会と RI 理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、その他の関連する任務を行います。RI 会長の選ばれ方については、まず、RI 会長は就任の前々年度に、「RI 会長指名委員会」によって指名され、RI 会長ノミネーとなります。「RI 会長指名委員会」とは、RI 理事指名のために設けられた世界で 34 のゾーンから選挙された、17 人の委員によって構成されている委員会のことです。こうして決まった RI の最高役員である RI 会長は、原則、ロータリー世界本部であるアメリカ・イリノイ州エバンストンで執務しています。執務の内容は実にさまざまなものがあります。国際ロータリーでは、ほぼ毎月、何かしらの大切な会合が定期的に行われますから、RI 会長にはこれらをつかさどるといふ重責があります。さらにロータリーの設けた各賞を授けるための審議や、世界中から RI 本部を訪問するロータリアンと面会したり、ハードなスケジュールの日々を過ごしています

エバンストンで執務している以外の日は、RI 会長は各国を訪問している、と言っていいかもしれません。国際ロータリーを代表する者として、各国の現または元政府指導者と会談することになっています

ロータリーが 1985 年から開始したポリオ撲滅運動を通じてメリンダゲーツ財団との深い信頼関係も強化されました。さらに人道的、教育的プログラムを通じて世界理解と親善そして平和を推進し

ています。定期的に行われる大切な会合として、まず RI 理事会が挙げられます。クラブの管理主体も、クラブの理事会であるのと同じように、RI の管理主体も、RI の理事会で、RI 会長は RI 理事会の議長を務めます。理事会は、世界中の全クラブを代表する責務をもつ理事 17 人と、RI 会長、RI 会長エレクトの計 19 人で構成されています。地区大会などについて本来ならば RI 会長としてすべてのあらゆる会合に参加したい、という精神は、誰も同じですが、残念ながら現状は不可能です。そこで、RI 会長は世界各国の地区大会には「RI 会長代理」を派遣し、メッセージを寄せたりすることで、その任をなしています。そして、国際大会の主宰は、会長としての仕事のハイライトとなります。また RI 会長は、そのほかの国際的会合に出席します。RI 会長指名委員と RI 理事指名委員を選挙するために RI 理事会が編成したクラブの集団をゾーンといいます。このロータリー・ゾーン研究会で講演を行ったり、ロータリーの行事日程表では、特別の行事とみなされているので、毎年度開催されるとは限りませんが、会長主催会議を持ちます。私が RI 会長をさせて頂いた 2012-13 年度の 11 月にベルリン、1 月にハワイ、5 月に広島の世界の 3 か所で平和フォーラムをそれぞれ 3 日間にわたり開催し、3 か所共に夫々 2 千人以上のご参加を得ることができました。120 万人以上の会員は、地元や海外など 200 以上の国や地域で、地域社会の改善をいします。また会員になるためにはクラブ会員の紹介が目指して自らの専門知識、情熱、エネルギーをボランティアで捧げる、事業や専門職のリーダーです。そして各地域社会のニーズに対応した奉仕活動を展開しています。特に飢餓、貧困、疾病、非識字と云った重要な問題に取り組むボランティア活動を行っておりクラブ理事会で承認されることです。私が RI 会長を務めさせて頂いた 2012-2013 年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」にしました。ロータリーの最優先項目は全世界でポリオを撲滅することです。ロータリーがポリオ・プラス・プログラムを発足させ 1985 年以来、ロータリアンの強い意志と努力によってポリオの感染数は 99.9% 減少し、ポリオが撲滅される日はそう遠くありません。ポリオ撲滅が達成されれば、天然痘に続いて人類史上 2 番目に撲滅された疾病となります。現段階では来年度すなわち 2017 年 6 月末年度にはゼロになると思われまので、その場合は 2020 年 7 月にはポリオの撲滅宣言が世界の多くのマスコミによって大々的に発表されることとなります。さらに皆様はすでによくご存じのとおりロータリーが取り組んでいる 6 つの重点分野活動があり、それは次の通りです。母子の健康、水と衛生設備、疾病予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育と

識字率の向上、そして経済と地域社会の発展でロータリーは、教育や青少年の為の活動を通じて平和と国際理解を築きます。例えばロータリー青少年交換は、高校生が交換留学生として海外に派遣されるプログラムで、数週間の短期交から1年間の長期交換があります。ロータリー財団国際親善奨学金プログラムは、現在世界最大の私的資金による国際奨学金プログラムです。1学年度国際親善奨学金—1学年の間の海外留学のために授与されます。マルチ・イヤー国際親善奨学金—学位を得るための2年間の海外留学のために授与されます。文化研修のための国際親善奨学金は海外での3ヶ月または6ヶ月間の集中語学研修と文化実習のために授与されます。また、ロータリーは、母親や子供たちが基本的な医療を利用できるよう支援しています。現在、栄養失調や不十分な医療・衛生のために亡くなる5歳未満の子どもの数は、世界で約700万人と推定されていますが、ロータリーはこのような子供たちの命を救うために活動しています。ある調査によると、妊産婦が産前・産後の医療や訓練された保健従事者のサービスを受けることができれば、妊産婦の死亡の80パーセントを防げることが分かっています。ロータリーは、母子の健康を向上させるための、教育、予防接種、お産キット、移動診療所を提供しています。母親たちは、子供へのHIV/エイズの感染の予防法、母乳の与え方、健康管理の方法などを学びます。きれいな水は、人間の基本的ニーズの一つです。きれいな水は、人びと、特に子供たちが、より健康で、実りある生活を送ることを可能にします。「疾病予防と治療」では、発展途上国で多くの人びとが質の高い医療を低コストまたは無料で受けられるよう、支援活動を行っています。高額な医療費のために毎年1億人以上が貧困に陥っている中、ロータリーは主な感染症であるポリオ、HIV/エイズ、マラリアなどのために資金を提供しています。世界には、学校教育が受けられない子供たちが6,700万人、読み書きができない15歳以上の人たちが7億7,500万人以上います。ロータリーは、世界の地域社会で、テクノロジー、教員研修、職業研修チーム、給食、廉価な教科書を提供する教育プロジェクトを支援しており、地域社会が基本的教育と識字率、教育機会における男女差、成人の識字教育を自力で改善できるよう、その能力を高めることを目標としています。世界で14億人が、1日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは、支援が行き届いていない地域社会において、研修、雇用の機会、小口ローンを提供することで、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。さらには、仕事に必要な道具を寄贈したり、職業研修を行ったりすることで、貧困地域における起

業家やリーダー、特に女性を応援しています。ロータリー平和センターで学んだ平和構築専門家は、英国からオーストラリアに赴き、スーダンからの難民のコミュニティづくりを支援するとともに、紛争解決に取り組んでいます。世界で6,500万人びとが武力紛争や迫害によって住居を失っています。武力紛争からの避難民の90パーセントが民間人で、そのうち半数は子供です。ロータリーは奉仕プロジェクト、フェロウシップ、その他の活動を通じて紛争を予防・解決し、危険地域を逃れてきた避難民を援助する人たちに研修を提供しています。会員はまた、貧困、差別、民族間の摩擦、教育機会の不足、リソース分布の不平等などといった、紛争の構造的な原因を改善するプロジェクトを実施しています。また世界で14億人が、1日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは、支援が行き届いていない地域社会において、研修、雇用の機会、小口ローンを提供することで、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。さらには、仕事に必要な道具を寄贈したり、職業研修を行ったりすることで、貧困地域における起

Q2. 国際ロータリー本部のあるエバンストンの住まいは：会長ノミニとエレクトの1年半は本部裏のアパート、そして会長年度は本部から徒歩で7分の場所にあるもっと良い住居です。毎年の会長は同じ住まいで生活しています。しかし2年半の内の90%は世界を廻っています。翌週以降の会長としての仕事の準備のために本来休日である土曜と日曜日が私にとって特に多忙でした。このような理由で結果的に私の休日は1日もありませんでした。もちろん風邪や病気で休んだこともありませんでした

Q3. 一人での食事の調理は：家内が最初の頃体調が良くなかったので一人でした。土曜と日曜が休日のため出張しない時は主に豆腐とライスで簡単な食事。料理ができないために殆ど満足な食事は諦めていました

Q4. RI 会長の選挙はどのように：立候補者として15分のカラービデオによって英語と日本語で自分の声を録音します。毎年8月にエバンストンに世界の34ゾーンから毎年17人の代表が集まり

その録画を見ながら討論し1日で選挙します。毎年10人から15人の立候補者が世界から出て戦います。もちろん同じ候補者が数年続けて出ますが途中で断念する候補者も多くいます。私の選挙の時は現元 RI 会長を務められた台湾のゲリーファン氏を含めて10人でした

Q5. RI 会長を目指したのはいつごろか; 以前から会長に立候補するよう何回も要請を受けたが乗り気ではなく断ってきた。しかしこれ以上断りきれずに条件付きで了承。条件は一回の挑戦で落選したら再挑戦しないという約束をした。それは会長になる約3年前のこと。実際には一回で選挙されてしまいました

Q6. RI 理事会は:世界から17人の理事と、事務総長そして副会長が入り会長が議長となり、1年に4回開催されます

Q7. 以前に想像していたこととの食い違いは:それほどありませんでした

Q8. 世界を廻っている時の言語は;日本に滞在中以外はすべて英語のスピーチでありスピーチ以外の会話はすべての地域で通訳をつけて頂きました

Q9. 能力開発のポイントは:潜在能力の顕在化目標設定高く 継続 不可能はなし

Q10. 日本に帰れた日数は:1年に3日くらいですが殆ど家にはいませんでした

Q11. もう一度訪問したい国は:スイスが一番好きな国です

Q12. 奥さんはどうしていたか;エバンストンでの休日は一緒にいますが会議の時は外国の奥さん達と一緒に言語には大変だったようです

Q13. 部屋はいくつあるか:ノミニー、エレクトの時は1部屋で会長の時は3部屋が与えられました

Q14. 外国でゴルフはできたか:全くできませんでした

Q15. 訪問国数は:2年半で70か国以上と思います

Q16. 健康の維持方法は:くよくよせずいつも楽しく前向きに過ごすこと

Q17. 外国のゾーン研究会出席は:世界21か所あり2年間ですべてを回り、それぞれの地域で講演を行いました

Q18. エリートだけが会員になれると云うのは本当ですか、また誰でも会員になれないのは何故ですか: ロータリー通じて地域社会を改善するために、意欲を持って時間と労力をささげることができる全ての専門職者や職業人をロータリーは歓迎しています

Q19. 財団の寄付額の順位は;アメリカ、日本、インド、韓国、ブラジル

Q20. 世界の国の会員数順位は:アメリカ、インド、日本、韓国

Q21. 日本の評判は:日本人の評価は高く、日本国の評判も良く、食事でもです

Q22. 時差の問題は:最初きつかったのですが自然に慣れてきました

Q23. 秘書はいるか: Rosemary さんという素晴らしい方でした

Q24. 公式の秘書はいるか:パトリスアさんという方が1年間公式秘書でした

Q25. 国際大会での家族の紹介は:バンコク14人とリスボン15人が大会壇上に

Q26. 国際大会の最高登録人数は:43,000人以上で大阪大会が新記録でした

Q27. 私の年度の平和会議のテーマ:広島「平和はあなたから始まる」ベルリン「国境のない平和」ホノルル「平和にいたる緑の道」其々2千人以上の参加、夫々3日間でした

Q28. 自家用車は:一台車が与えられましたが私は一回も運転しませんでした

Q29. 病気で休んだことはあるか:一日も休むことはありませんでした

Q30. 財団管理委員には:RI 会長を終えた後1年間は休みでその後4年間は財団管理委員として務め、最後の4年目はロータリー財団管理委員長になるのが通例ですが私の場合は家庭の事情で2年で変わっていただきました。私はそれ以前にも財団管理委員を4年間勤めましたので合計6年間勤めたこととなります

Q31. 困ったことはあったか:それほど困ったり、苦しいようなこともなく毎日楽しく過ごせました

Q32. ロータリーはどのような若い世代と協力できるでしょうか:今日の若者は、ボランティアに対して強い関心を抱いています。若者によるボランティアを促進すると同時に、若者のリーダーシップと専門知識や技能の向上をさせる2つのプログラムを提供しています。一つは12-18歳の青少年を対象とするインターアクトクラブで、ロータリー・クラブがその設立を支援します。もう一つは18-30歳の若者を対象とするローターアクトです。同じくロータリー・クラブがその設立を支援します。ロータリーの青少年交換プログラムでは、2013-14年度は71カ国の8,000人以上の高校生が海外での生活を経験し、国際的な親善と友好を築きました

Q33. ロータリーは米国を中心とする団体ですか:ロータリーは1905年にシカゴで創設され、米国では7,720のロータリー・クラブと男女合わせて約328千人の会員が活動しています。これらの数は確かに世界で最も大きい数字となっています。しかし合計120万以上のロータリー会員の3分の2以上は米国以外の国で活動しています。会員が世界で2番目に多いインドでは、3,500近くのクラブと132千人の会員が活動しています。次に

日本やブラジルにはそれぞれ2,270のクラブがあります。イスラエルにも60のクラブがあります。Q34. イスラム国家にもロータリー・クラブがありますか：イスラム教信者大多数を占める国家の中では、トルコのクラブ数が最も多く数年前に225クラブがあり、またトルコの会員数は5,700人以上でした。2番目のパキスタンでは、159のクラブとおよそ2,800人の会員が活動していました。マレーシアでは116のクラブ、インドネシアでは112クラブ、エジプトは78クラブとなっていました。その他にアフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アゼルバイジャン、バーレーン、ヨルダン、モロッコ、そしてアラブ首長国連邦にもクラブがあります。2010年パレスチナにもロータリー・クラブが設立されました

Q35. 女性がロータリーで活動できるようになるまで、長い時間がかかったのは何故でしょうか：今日、女性会員はロータリーの重要な部分を占めており、その数も拡大しつつあります。ロータリー・クラブは地域におけるビジネスの状況を反映しており、より多くの女性がビジネスリーダーとして社会で活躍するようになれば、それだけロータリーの女性会員も増えることとなります。今日、何千ものクラブで女性がクラブ会長になっています。またロータリーの理事会や管理員会でも女性が入ってきました。あと数年で女性のRI会長が実現すると思われます。ロータリーを通じて女性が世界の地域社会に変化をもたらしていると云うことこそ重要な意味があるのだと思います

Q36. 2012-13年度のテーマを「奉仕を通じて平和」に決めた理由は：どんな些細なことでも、人を助けることが、いずれは平和につながると思うようになりました。「平和」というのは、よく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にする言葉です。しかし、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。一番簡単なのは、「平和」ではない状態がどのようなものかを考えることでしょうか。そう考えれば、平和とは、戦争や暴力、飢餓、苦しみ、貧困を恐れることのない状態です。また逆に、「平和」それ自体が、どういう可能性を秘めているのかで、定義することもできます。そういう意味では、「平和」とは、思想の自由、選択の自由であると言えるでしょう。また、安心できる未来、安定した社会であるとも言えるでしょう。また、もっと抽象的なレベルでは、「平和」とは、幸福感や、心の平穏であるとも言えます。このように、「平和」が何を意味するかは、人によって違います。どの定義が正しいとか、間違っているとかではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それが平和です。どのような意味でこの言葉を使うにして

も、ロータリーでそれを実現することができます。ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに答えています。また、友情、人と人とのつながり、思いやりといった、心のニーズにも応えることができます。さらに、国や民族間の友情や、寛容の精神を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」、つまり、互いを理解する心を養うことができます私は、「超我の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。ロータリアンは、自分よりも人のニーズに耳を傾け、自分だけでなく、社会全体のためを考えます。これは、平和への基本です。先ほど申し上げましたように、私は、2012-2013年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」といたしました。これは、「平和」をどのように定義するにしても、奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができると考えるからですほかの人のニーズが、自分のニーズよりも大切だと思え、みんなのためになる共通の目標に向かって力を合わせられるようになれば、世界に対する見方、人との接し方、優先順位など、すべてが一変するでしょう。私は1939年に生まれました。今でも、終戦日の玉音放送を聞いたときのことを覚えています。天皇陛下のお言葉はとても難しく、まだ幼かった私は、話の内容がよく理解できませんでした。しかし、天皇陛下のお言葉の後、ラジオのアナウンサーが、日本は降伏し、戦争が終ったと告げました。まだ6歳だった私は、その意味が何なのか、その後の日本にとって何を意味するのか、よく分かりませんでした。しかし私は、ここにおられる皆さまと同じく、戦後、日本が新しく、近代的で、平和な国になろうと懸命だった時代に育ちました。少しずつ、世界に対する見方が変わり、世界も日本に対する見方を変えました。今日の日本は完璧ではありませんが、平和を守っています。この点で、世界は日本に学ぶことができるのではないかと思います。東日本大震災が起きたとき、私は会長エレクトでした。各国を訪れるたびに、ロータリー関係者であるなしを問わず、大勢の方が思いやりの声をかけてくださり、私の家族や友人の安否を気遣ってくださいました。このことには、とても感動いたしました。しかし、何よりも、自分が日本人であることを、とても誇りに思いました。海外のテレビや新聞、ラジオでは、震災後の日本人の態度に、称賛の声が上がっていました。日本人は、混沌の中で、店から物を盗むことも、争い合うことなく、団結し、支え合って耐えていました。これは、多く外国人にとって、信じがたい光景でした。日本人である私たちには、これは文化の一部に過ぎません。個人の欲望より

も、社会や集団を大切にするのは、日本人にとって当たり前のことです。争いよりも平和を大切にする姿勢が、ここにあると思います。ご静聴ありがとうございました

2017-18年度 東尾張分区ガバナー補佐挨拶

小牧RC 鈴木 文勝君

この度、2017-18年度東尾張分区ガバナー補佐を拝受させて頂きました

若輩ではありますが、皆さまのご指導ご鞭撻を賜り、進めて参りたいと存じますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

まずもって、本年度の東尾張分区 IM のご盛会をお喜び申し上げます

また、地区大会では、東尾張分区全クラブの皆さまには、全員登録をして頂き、地区大会を成功裏に終えることが出来ました。ホストクラブとして皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました

古田ガバナー補佐をはじめ歴代の先輩ガバナー補佐の皆さまは、毎年 IM を主催され、我が区内を纏めておいでになりました。他の分区からは、東尾張分区は仲が良くてうらやましいとよく耳にします。歴代のガバナー補佐をはじめとする区内会長、幹事さま、全クラブメンバーの皆さまが長年実践されてきた親睦・交流のたまものであると思います。この良い関係を損なうことが無いように、次年度のお役を全うして参りたいと存じますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

私が所属する小牧ロータリークラブは、次年度創立50周年を迎えます。何かとお世話になります重ねてよろしくお願ひ申し上げます

次期ホストクラブ 挨拶原稿

小牧RC 名和千博君

本日は、古田ガバナー補佐を始め、江南ロータリーの皆さま本会のご設営を頂き誠にありがとうございました。また、ガバナー補佐業務は半年以上ありますが、お身体に御自愛を頂き残り期間もよろしくお願ひいたします

さて、先ほどご紹介が有りました通り、次期は小牧より鈴木文勝をガバナー補佐として輩出させて頂き、合わせて IM のホストを務めさせていただきます。小牧ロータリークラブでございます。改めましてよろしくお願ひいたします

私ども小牧RCは、次年度50周年の節目の年でもあります。節目にふさわしい一年とする為にもクラブ全体で支え合い、後方支援に回りたいと思います。もちろん、50年の区切りのお披露目と共にどちらとも一切手を抜くことなく、前進したい

と思います。そして、皆様方の期待を裏切ることなく「東尾張は一つ」を目指しやって参りたいと思いますので、改めてご支援・ご協力をお願いいたします

最後になりますが、過日行われました地区大会への全員登録を始め、ご協力ありがとうございました。お陰様をもちまして無事 終了する事が出来ました。この運営を通し、クラブとしてまた、会員一人ひとりの自信がつくと共にかけがえのない体験をさせて頂きました。これを次の機会に是非とも活かしてまいりたいと思います

今後も皆様のご協力、ご指導をお願い申し上げます。ありがとうございました



ガバナー補佐 古田 嘉且君



IM実効委員長 安藤喜代司君



次期ガバナー補佐 鈴木 文勝君



歓迎挨拶 伊藤 靖祐君



次期ホストクラブ挨拶 名和 千博君



基調講演 田中 作次氏

